

RASA

北インド古典音楽

HINDUSTANI MUSIC 2020

シタール奏者:野口昌彦

Sitar player : Masahiko NOGUCHI

バンスリー奏者:池田 剛

Bansuri player : Tsuyoshi IKEDA

RASA HINDUSTANI MUSIC 2020

タブラ奏者:上坂朋也

Tabla player : Tomoya UESAKA

2020 12/12 土

15時00分開演(14時30分開場)

チケット発売 9月5日(土)

堺市文化振興財団チケットセンター
Tel 0570-08-0089 (10:00-18:00 年中無休)
※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

[インターネット販売] (24時間受付・要事前登録)
<http://www.ticket.ne.jp/sakainet/>

・公演日の前日まで前売料金にてお求めいただけます。
・前売券が完売した場合は、当日券はございません。
・ローソン、堺市文化振興財団チケットセンターでのご購入の場合
発券手数料が必要です。



堺市立東文化会館は新型コロナウイルス感染拡大状況に応じた「感染拡大防止対策」を実施しております。

堺市立東文化会館

3階 フラットホール

前売 1,000円 当日 1,500円 【全席自由】

[チケットお求め]

堺市立東文化会館 Tel 072-230-0134

堺市立梅文化会館 Tel 072-296-0015

アルテベル (堺市立美原文化会館) Tel 072-363-6868

フェニーチェ堺チケット窓口 Tel 072-223-1000

ローソンチケット (Lコード: 52383)

後援 堺市立東文化会館

〒599-8123 堺市東区北野田 1084-136 Tel.072-230-0134

<http://www.sakai-bunshin.com/>

後援



在大阪・神戸インド総領事館



文化と翔ける翼、エアインディア



उत्तर भारतीय शास्त्रीय संगीत

RASA 北インド古典音楽

ラサ

それはすべての感情が紡ぎ出す心の美学

シタール、タブラ、バンスリー

伝統の楽器から醸し出されるラーガは、即興の芸術北インド古典音楽

心を和ませ、癒し、楽しませ、人々の「ラサ」を呼び起こす

タブラ奏者: 上坂 朋也

Tabla player : Tomoya UESAKA



Susanta Banerjee、Anindo Chatterjee 両氏に師事しタブラを習得。中村岳氏に師事しラテンパーカッションを習得。毎年渡印を続け西ベンガル州の州都コルカタにおいてインド古典音楽の研鑽を重ねた。兄弟打楽器デュオ[Carimelo Music Pool]として関西を中心に活動するマルチパーカッションプレイヤー。

タブラ

高音用のタブラと低音用のバヤ、二つの太鼓からなる。タブラは木製、バヤは金属製で皮は両者共ヤギのものを使用する。



シタール奏者: 野口 昌彦

Sitar player : Masahiko NOGUCHI



1999年より日本国内でシタールを始める。

2005年よりインド西ベンガル州の州都コルカタにてセニ・マイハール派の巨匠Kushal Das氏に師事。以降渡印を重ね師の下でシタールの研鑽を重ねている。大阪府在住。関西を中心に演奏活動中。

シタール

北インド発祥の弦楽器。上下二層に張られたスチール弦は流派によって数が異なり17~22本。主に上層の弦を弾くことで下層の弦を共鳴させ幻想的な響きを生み出す。



バンスリー奏者: 池田 剛

Bansuri player : Tsuyoshi IKEDA



1996年にCarlos Guerra氏よりバンスリーを習得。2003年より土谷インド音楽教室でタブラとの合奏法を学ぶ。2009年に渡印、バンスリーの第一人者Hariprasad Chaurasia氏の下で研鑽を重ねる。現在は中川博志氏に師事しつつ、関西を中心に各地で演奏活動を行っている。

バンスリー

紀元前15世紀に登場したインドの横笛。その音域は幅広く、素朴で優しい音色から厳しく鋭い音色を表現することができる。日本の横笛の原型とされる。

